

ACPA スキル認定証明書 活用事例

早稲田大学 教育学部4年 太田 茉利 さん

- ◆スキル認定科目：早稲田大学設置科目/コンピュータによる統計入門
/クライアントサイドWebプログラミング入門
- ◆ ACPAメイト登録：2010年9月 / 証明書取得時期：2010年9月
- ◆ 内定：大手システム関連会社

どうして『スキル認定証明書』を取得しようと思いましたか？

10月からの就職活動に何か備えたいと思ったとき、メールで『スキル認定証明書』発行キャンペーンの案内が届きましたのですぐ申込みました。

エントリーシートなどに『スキル認定証明書』についてなんらかの記載をしましたか？

証明書は資格ではないため、エントリーシートの「資格取得」欄には記載しませんでした。ただ、エントリーシートには備考欄やその他欄があったので、そこに記入すれば、面接官の目に留まったかもしれない、と思います。エントリーシートを埋めるということが、意欲の表れとして評価される一面もあると思います。また、面接では、まず第一に、注目されること、質問をしてもらうことが重要だと感じたので、そのことを意識してエントリーシートを作成することも必要だと思います。



証明書をどのように利用しましたか？またどのように役立ちましたか？

就職活動の面接で、自身の IT スキルについて説明をする際、ACPA のスキル認定証明書を取得していることを伝え、レベルについても証明書を元に明確に説明することができました。

就職活動時、企業側から証明書について質問を受けたり、説明を求められましたか？

面接時、ACPA のスキル認定証明書、と言っても認知されておらず、説明を求められました。今思えば、それが逆に話のきっかけにもなりました（笑）。具体的には、自分の専攻に関連する IT スキルについて質問をされた際、ACPA の『スキル認定証明書』を取得していることをもとに、自身のスキルレベルについて具体的な説明ができ、面接官にも自分のスキルについて理解してもらえたのはとてもよかったと思います。

ACPAの『スキル認定証明書』について要望などはありますか？

まずは ACPA の認知度が上がると良いと思います。実際、スキル認定証明書について質問された際、発行元であるACPAについて説明をするところから始まりました。

証明書に関し他学生へのアドバイスがあればお願いします。

エントリーシートに書く資格が「運転免許」位しかない…と嘆いている人へ、私もそうでした。実際に面接を受けて、自分の身に残るものは大事、だと痛感しました。そんなとき、ACPA のスキル認定証明書はとても心強い存在でした。

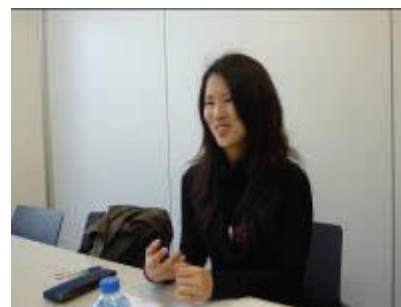
スキル認定証明書は、資格ではありません。しかし、面接で、“これまで受けた授業で自分に身についたスキル”について質問をされた際、証明書を根拠に自分のスキル、授業に対する取り組みをアピールすることができプラスになったと思います。

手当たり次第、または単位取得の容易さを考えて科目登録するよりも、学校の授業に真剣に取り組んでいるだけで、結果として証明書がついてくる ACPA 認証科目を履修することをおすすめしたいです。

就職活動を念頭に置いた資格取得をしている人も多いと思います。ACPA の『スキル認定証明書』は就職活動のための資格取得とは異なり、授業に真剣に取り組んでいたこと、目標を定めスキルを身につけてきたことを証明してくれるものです。

しかも『スキル認定証明書』を取得するために、授業以外の時間、費用は一切かからない、とても効率的、有効的なものだと思います。

就職活動中、就職活動を控えるみなさんに、ACPAスキル認定証明書の取得をおすすめします。



ACPAスキル認定証明書 活用のPOINT :

- 面接では質問されることが重要！それを意識してエントリーシートを作成すべき。ACPAの『スキル認定証明書』は、面接で注目度が高い！
- 就職活動のための資格取得と異なり、授業以外の時間、費用は一切かからず、かつ授業に真剣に取り組んだ証明となり、自己PRとして有効！